

母性看護学

専門分野

(令和6年度3年生用)

授業科目	周産期実習	講師	氏名	内藤 直美	開講年次		単位・時間	
			所属	専任教員	3年次 前期	1単位 30時間		
			実務経験	臨床看護師				
実習目的	妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期にある母子とその家族を対象に、健康を維持・促進するために必要な支援を学習し、リプロダクティブ・ヘルスケアを展開するための基礎的な実践能力を身につける。							
到達目標								
知識・技術	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠・分娩・産褥の機序、胎児期・新生児期の生理と発育について説明できる。 2. 妊婦・産婦・褥婦および新生児への検査、ケアの必要性が説明できる。 3. 基本的な母性看護技術を実践できる。 4. 母子保健に関わる諸法規および社会資源について述べるができる。 							
思考・判断・表現	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周産期における母子とその家族のアセスメントできる。 2. 褥婦と新生児及びその家族への個別性に応じたケアを実践することができる。 3. 周産期保険医療チームとしての看護職の役割について考える。 							
主体的学習態度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 対象である個人・家族を尊重し、人権を擁護する関わりを持つことができる。 							
実習期間および実習時間	実習期間：周産期病棟または助産院 実習時間：8：30～14：45 7時間×2日間 14時間 8：30～15：30 8時間×2日間 16時間							
実習内容	社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院(4N病棟)では、自然分娩、帝王切開、外来における妊婦健診の見学、褥婦と新生児の看護の実践を中心に行う。 助産院 町のさんばさんでは、正常に経過している周産期における母子とその家族の看護が中心となる。また、助産所で行われる健康支援活動(思春期の健康指導、性教育、子育て支援活動など)に参加することによって、周産期の女性だけでなく女性の健康支援の意義や重要性を理解する。							
実習施設	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会医療法人水光会 宗像水光会総合病院 2. 助産院 町のさんばさん 							
評価方法及び評価基準	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「評価規程」及び「実習に関する規程」に基づいて行う 2. 周産期実習の実習状況をもとに評価表にて評価を行う。(100%) 							
テキスト・参考文献	ナーシング・グラフィカ② 母性看護の実践 (メディカ出版) ナーシング・グラフィカ③ 母性看護技術 (メディカ出版) 系統別看護学講座 母性看護学各論 (医学書院) 参考図書：病気がみえる vol.10 産科 (MEDIC MEDIA)							
留意事項	事前に入形を用いて沐浴練習と新生児のバイタルサイン測定を行うこと。							